

科目名	英語コミュニケーション論 II	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			国際学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	English Communication Theory II	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	みうら かおる	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	三浦 薫	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	英語学習がうまくいかない理由は、日本語の特性と比較して英語の特性を知らないことに原因があります。ただ丸暗記する、覚える前に、英語とのより良い付き合い方を学びます。			
到達目標	英語コミュニケーション論 I で学んだ英語の特性、英語を母国語とする人の考え方についての発展編です。英語上達法また英語文法を学ぶのではなく、英語の本質への理解を深める講義です。自閉症の人たちのコミュニケーションについての研究をする発達倫理学者の考えから学びます。			
授業概要	英語とはどんな言語か、なぜ冠詞があり、なぜ複数形があるかなどを知ることで、英語コミュニケーションのカギをつかめます。英語脳と日本語脳との違いを知って、違いを超える、を目指します。			
授業計画				
第1回	英語脳と日本語脳 概要			
第2回	英語脳と日本語脳の比較			
第3回	人称の捉え方			
第4回	構文の違い			
第5回	思考法			
第6回	共同注意			
第7回	主語の必要性			
第8回	語順文法と格文法			
第9回	修飾方法			
第10回	視点			
第11回	時制			
第12回	空間表現			
第13回	英語のクセと日本語のクセ			
第14回	関係の論理と感覚の論理			
第15回	日本語と英語の存在理由			
第16回	試験			
授業時間外の学習	本の中の決められた箇所を必ず読んでから (1.5 時間) 自分の意見をまとめて、講義に出席すること 講義で学んだことをまとめ、参考文献として紹介されたものを読んで (1.5 時間) 学んだことを理解、定着させること			
履修条件 受講のルール	文献を読むこと 英語コミュニケーション論 I を履修していることが望ましい			
テキスト	「英語脳」 V. S. 「日本語脳」 熊谷高幸 新曜社			
参考文献・資料	講義内で指示します。			
成績評価の方法	試験 60% レポート 30% 小テスト 10% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	木曜 1 限、2 限			

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	いままで小、中、高、大と10年近く勉強してきた「英語」という言語はどんな言語なのか、日本語とどう違うからこんなに難しいのか、を探ってみましょう。